資料４

専門薬剤師・認定薬剤師認定制度

一般社団法人　日本病院薬剤師会

専門薬剤師・認定薬剤師認定制度の創設までの経緯

平成11年度 1999　院内感染対策講習会の受講対象者に薬剤師を追加

平成15年度 2003　院内感染対策有識者会議報告書
感染対策チームの一員として、薬剤師の役割への期待

平成16年度 2004　第3次対がん10ヵ年総合戦略
がん化学療法における薬剤師の積極的な関与が求められる。
日病薬に専門薬剤師認定制度特別委員会を設置

平成17年度 2005　がん、感染制御領域で専門薬剤師認定制度を創設

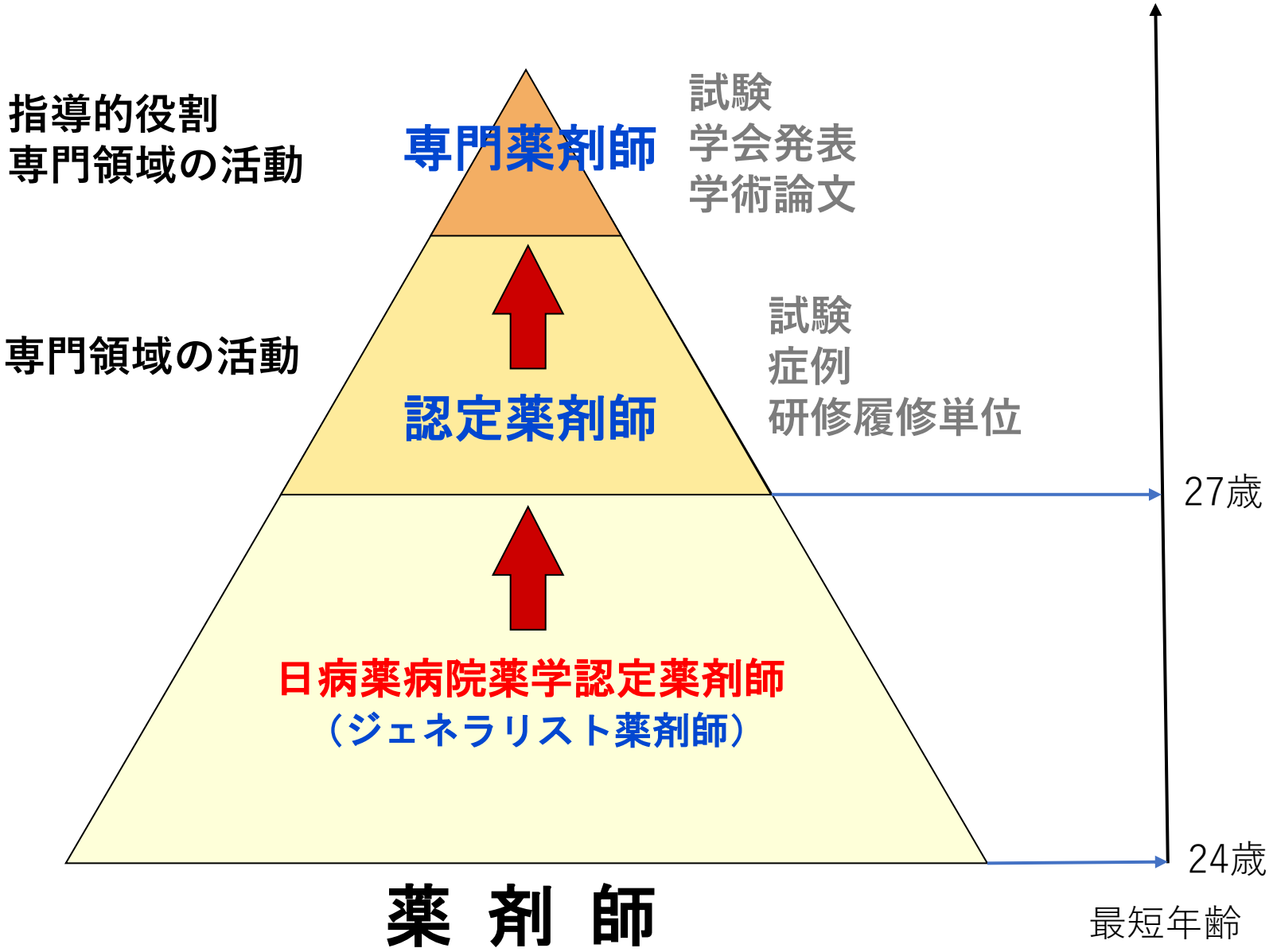
平成18年度 2006　がん診療連携拠点病院加算（入院初日200点）
がん専門薬剤師研修事業開始
（厚労省補助金事業→日病薬が受託）

平成19年度 2007　がん薬物療法、感染制御認定薬剤師認定制度を創設
精神科専門薬剤師認定制度を創設

平成20年度 2008　精神科薬物療法認定薬剤師認定制度を創設
妊婦・授乳婦、HIV感染症専門薬剤師認定制度を創設

平成21年度 2009　妊婦・授乳婦、HIV感染症薬物療法認定薬剤師認定制度を創設

日病薬病院薬学認定薬剤師制度と専門薬剤師・認定薬剤師認定制度の関連



日本病院薬剤師会 専門薬剤師・認定薬剤師認定制度

＜目的＞

一般社団法人日本病院薬剤師会専門薬剤師・認定薬剤師認定制度（以下、「認定制度」という）は、高度化する医療の進歩に伴い、薬剤師の専門性を生かしたより良質の医療を提供するという社会的要請に応えるため、高度な薬物療法等について知識・技術を備えた薬剤師を養成し、国民の保健・医療・福祉に貢献することを目的とする。

認定薬剤師

本会認定薬剤師認定審査に合格し、特定の専門分野における薬物療法等についての十分な知識と技術を用いて、各医療機関において質の高い業務を実践していることが認められた者をいう。

専門薬剤師

本会専門薬剤師認定審査に合格し、特定の専門分野における薬物療法等についての十分な知識と技術を用いて、各医療機関において質の高い業務を実践するとともに、他の薬剤師に対する指導的役割を果たし、研究活動等についても行うことができる能力を有することが認められた者をいう。

日本病院薬剤師会　専門薬剤師認定領域　全5領域

がん薬物療法	感染制御	精神科	妊婦・授乳婦	HIV感染症
平成17年度～	平成17年度～	平成19年度～	平成20年度～	平成20年度～
・抗がん剤治療の個別最適化 ・副作用対策 ・患者ケア	・院内感染対策(ICT) ・抗菌薬の適正使用推進(AST)	・精神疾患の薬物療法支援 ・副作用モニタリング ・患者の社会復帰支援	・妊娠・授乳中の安全な薬物療法 ・母子への影響評価	・抗HIV療法の支援 ・多剤併用・副作用管理 ・患者の長期フォロー

日本病院薬剤師会の会員数・認定薬剤師・専門薬剤師数

日本病院薬剤師会　正会員・特別会員の会員数(令和7年度)	50,346名

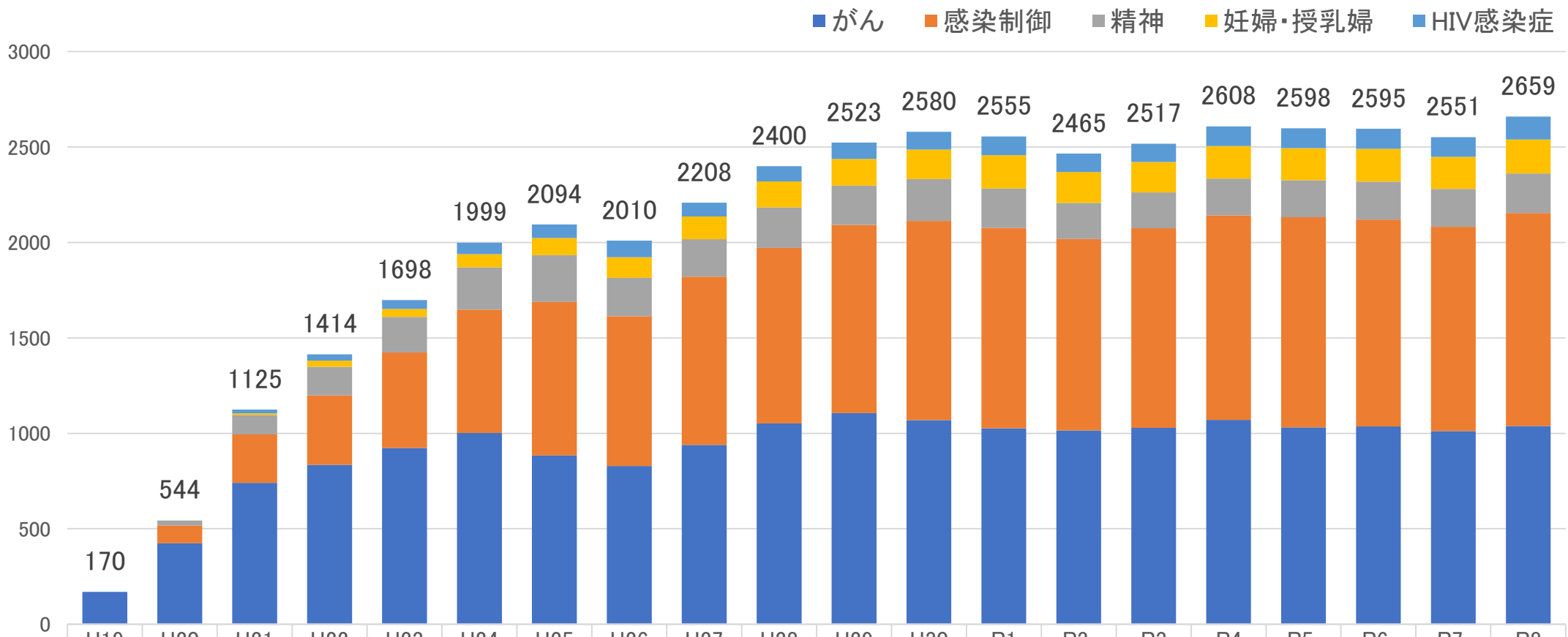
	認定薬剤師	専門薬剤師
総計	2,659	632
がん	1,039	106
感染制御	1,115	381
精神科	208	76
妊婦・授乳婦	177	35
HIV感染症	120	34

令和8年11月1日現在



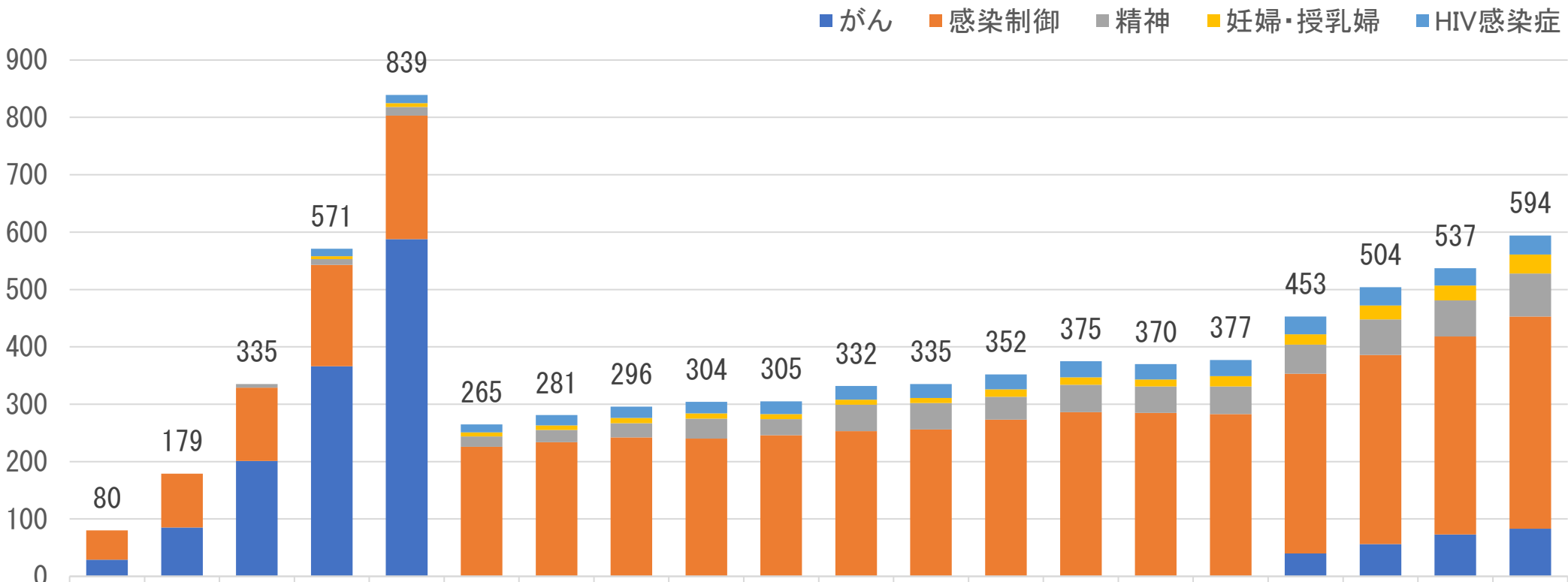
本会の会員約6.5%が認定薬剤師・専門薬剤師取得者となっています。

認定薬剤師数の推移



	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3	R3	R4	R5	R6	R7	R8
HIV感染症			20	33	47	60	71	87	72	80	85	94	98	96	95	103	104	105	102	120
妊婦・授乳婦			9	32	41	69	89	108	119	136	140	154	174	162	160	170	168	171	169	177
精神		26	102	150	186	222	246	202	196	212	206	219	207	189	188	193	194	199	198	208
感染制御		94	253	364	501	646	804	784	882	920	986	1044	1050	1003	1045	1071	1101	1084	1070	1115
がん	170	424	741	835	923	1002	884	829	939	1052	1106	1069	1026	1015	1029	1071	1031	1036	1012	1039
合計	170	544	1125	1414	1698	1999	2094	2010	2208	2400	2523	2580	2555	2465	2517	2608	2598	2595	2551	2659

専門薬剤師数の推移



	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
HIV感染症				13	14	14	18	20	20	22	24	24	26	28	27	28	31	32	30	33
妊婦・授乳婦				5	7	7	8	9	9	9	9	9	13	13	12	18	18	24	26	33
精神			6	10	15	18	21	25	35	28	46	46	40	48	46	48	51	62	63	75
感染制御	51	94	128	177	215	226	234	242	240	246	253	256	273	286	285	283	313	330	345	370
がん	29	85	201	366	588	※											40	56	73	83
合計	80	179	335	571	839	265	281	296	304	305	332	335	352	375	370	377	453	504	537	594

※がん専門薬剤師認定制度は、平成22年度に日本医療薬学会へ移管しております。

専門薬剤師認定制度の新規申請・更新申請要件

認定薬剤師

新規

1）実務経験：3年
2）JSHP会員
3）専門学会会員
4）病院薬学認定（JSPHCS専門可）
5）専門従事歴：3年
6）座学等：〇単位(領域により異なる)
7）症例実績〇例程度(領域により異なる)
8）認定試験合格

5年

更新

1）JSHP会員
2）学術団体会員
3）専門学会会員
4）病院薬学認定（JSPHCS専門可）
5）認定期間中専門業務従事
6）座学等：〇単位(領域により異なる)
7）症例実績：〇例(領域により異なる)
8）学会発表1回or論文1編
（共同発表・共同著者可）

専門薬剤師

新規

1）〇〇領域認定薬剤師
2）専門学会会員
3）学会発表2回(筆頭1)and論文1編
4）認定試験合格

5年

更新

1）JSHP会員
2）学術団体会員
3）専門学会会員
4）認定期間中専門業務従事
5）座学等：〇単位(領域により異なる)
6）学会発表1回or論文1編
（共同発表・共同著者可）

領域別認定薬剤師制度の新規・更新認定要件

	がん 薬物療法認定	感染制御認定	精神科 薬物療法認定	妊婦・授乳婦 薬物療法認定	HIV感染症 薬物療法認定
【新規】	1）実務経験：3Y 2）JSHP会員（別表会員可） 3）別表学会会員 4）JSHP病院薬学認定（JSPHCS専門可） 5）病診**がん薬物**従事：3Y 6）研修（認定施設：**8W研修** or **3Y従事**） 7）座学：**20U**（うちJSHP講習会**6U**） 8）症例：**50** 9）認定試験合格	1）実務経験：3Y 2）JSHP会員（別表会員可） 3）別表学会会員 4）JSHP病院薬学認定（JSPHCS専門可） 5）病診**ICC/ICT/AST**従事：3Y 6）研修（**なし**） 7）座学：**10U**（うちJSHP講習会**1回**） 8）症例：**20** 9）認定試験合格	1）実務経験：3Y 2）JSHP会員（別表会員可） 3）別表学会会員 4）JSHP病院薬学認定（JSPHCS専門可） 5）**精神病診・薬局精神科薬物**従事：3Y 6）研修（**なし**） 7）座学：**20U**（うちJSHP講習会**1回**） 8）症例：**30** 9）認定試験合格	1）実務経験：3Y 2）JSHP会員（別表会員可） 3）別表学会会員 4）JSHP病院薬学認定（JSPHCS専門可） 5）病診**妊婦授乳婦薬剤指導**従事：3Y 6）研修（認定施設：**40H研修** or **3Y従事**） 7）座学：**10U**（うちJSHP講習会**1回**） 8）症例：**15** 9）認定試験合格	1）実務経験：3Y 2）JSHP会員（別表会員可） 3）別表学会会員 4）JSHP病院薬学認定（JSPHCS専門可） 5）病診**・薬局でHIV患者指導**従事：3Y 6）研修（認定施設：**16H研修** or **3Y従事**） 7）座学：**5U** 8）症例：**10** 9）認定試験合格
	学術要件なし	学術要件なし	学術要件なし	学術要件なし	学術要件なし
	5年	5年	5年	5年	5年
【更新】	1）会員継続（別表可） 2）JSHP病院薬学認定（JSPHCS専門可） 3）JSPHCS/PSJ/JSCPT & **JCA/JSCO/JSMO/JSPM/JP PS/JASPO** 会員 4）継続従事：5Y 5）座学：**40U**（うちJSHP講習会12U） 6）症例：**25** 7）学会発表1回 or 論文1編	1）会員継続（別表可） 2）JSHP病院薬学認定（JSPHCS専門可） 3）JSPHCS/PSJ/JSCPT & **JSTDM/ICDJC加盟学会**会員 4）継続従事：5Y 5）座学：**30U**（うちJSHP講習会 **or MHLW講習会**計12U） 6）症例：**10** 7）学会発表1回 or 論文1編	1）会員継続（別表可） 2）JSHP病院薬学認定（JSPHCS専門可） 3）JSPHCS/PSJ/JSCPT & **JSPN/JSNP/JSCNP/JSBP/JHCPA/JSSP/JPGS/JAEP/JSDR/JSPP**会員 4）継続従事：5Y 5）座学：**40U**（うちJSHP講習会12U） 6）症例：**15** 7）学会発表1回 or 論文1編	1）会員継続（別表可） 2）JSHP病院薬学認定（JSPHCS専門可） 3）JSPHCS/PSJ/JSCPT & **JSOG/JPS/JTS** 会員 4）継続従事：5Y 5）座学：**30U**（うちJSHP講習会 **or 妊娠と薬情報センター講習会**12U） 6）症例：**5** 7）学会発表1回 or 論文1編	1）会員継続（別表可） 2）JSHP病院薬学認定（JSPHCS専門可） 3）JSPHCS/PSJ/JSCPT & **JSAR**会員 4）継続従事：5Y 5）座学：**25U**（うちJSHP講習会**or HIV/AIDSブロック拠点病院講習会**12U） 6）症例：**5** 7）学会発表1回 or 論文1編

領域別専門薬剤師制度の新規・更新認定要件

	がん薬物療法専門	感染制御専門	精神科専門	妊婦・授乳婦専門	HIV感染症専門
【新規】	1) がん薬物療法認定 2) JSPHCS/PSJ/JSCPT/JCA/JSCO/JSMO/JSPM/JPPS/JASPO会員 3) JSPHCS/PSJ/JSCPT/JPA /上記がん領域学会/関連国際学会/全国学会/JSHPブロック大会における発表2回（筆頭1回） 4) 論文発表1編（筆頭） 5) 認定試験合格	1) 感染制御認定 2) ICDJC加盟学会会員 3) JSPHCS/PSJ/JSCPT/JPA/JSTDM/ICDJC加盟学会/関連国際学会/JSHPブロック大会における学会発表2回（筆頭1回） 4) 論文発表1編（筆頭） 5) 認定試験合格	1) 精神科薬物療法認定 2) JSPN/JSNP/JSCNP/JSBP/JHCPA/JSSP/JPGS/JAEP/JSDR/JSPP会員 3) JSPHCS/PSJ/JPA/上記精神科領域学会/関連国際学会/全国学会/JSHPブロック大会における学会発表2回（筆頭1回） 4) 論文発表1編（筆頭） 5) 認定試験合格	1) 妊婦・授乳婦薬物療法認定 2) JSOG/JPS/JTS 会員 3) JSPHCS/PSJ/JPA/ 上記妊婦・授乳婦領域学会/関連国際学会/全国学会/JSHPブロック大会における学会発表3回（筆頭1回） 4) 論文発表1編（筆頭） 5) 認定試験合格	1) HIV感染症薬物療法認定 2) JSAR会員 3) JSPHCS/PSJ/JPA/JSAR/関連国際学会/全国学会/JSHPブロック大会における学会発表2回（筆頭1回） 4) 論文発表1編（筆頭） 5) 認定試験合格
	5年	5年	5年	5年	5年
【更新】	1) JSHP会員継続（別表可） 2) JSPHCS/PSJ/JSCPT & JCA/JSCO/JSMO/JSPM/JPPS/JASPO会員 3) 継続従事（指導的役割）：5Y 4) 座学：40U（うちJSHP講習会12U） 5) 学会発表1回 or 論文1編	1) JSHP会員継続（別表可） 2) JSPHCS/PSJ/JSCPT & JSTDM/ICDJC加盟学会会員 3) 継続従事（指導的役割）：5Y 4) 座学：30U（うちJSHP講習会 or MHLW講習会計12U） 5) 学会発表1回 or 論文1編	1) JSHP会員継続（別表可） 2) JSPHCS/PSJ/JSCPT & JSPN/JSNP/JSCNP/JSBP/JHCPA/JSSP/JPGS/JAEP/JSDR/JSPP会員 3) 継続従事（指導的役割）：5Y 4) 座学：40U（うちJSHP講習会12U） 5) 学会発表1回 or 論文1編	1) JSHP会員継続（別表可） 2) JSPHCS/PSJ/JSCPT & JSOG/JPS/JTS 会員 3) 継続従事（指導的役割）：5Y 4) 座学：30U（うちJSHP講習会 or 妊娠と薬情報セ講習会12U） 5) 学会発表1回 or 論文1編	1) JSHP会員継続（別表可） 2) JSPHCS/PSJ/JSCPT & JSAR会員 3) 継続従事（指導的役割）：5Y 4) 座学：25U（うちJSHP講習会 or HIV/AIDSブロック拠点病院講習会12U） 5) 学会発表1回 or 論文1編

申請費用、更新費用 等（日病薬会員の場合）

認定薬剤師・専門薬剤師　新規申請時　　44,000円～	
認定試験　受験料	11,000円
認定申請料	11,000円
認定料	22,000円
認定薬剤師・専門薬剤師　更新申請時　　33,000円～	
更新申請料	11,000円
更新料	22,000円
その他	
講習会費	8,800円／日（web）
研修	がん（8週間）110,000円 妊婦（5日間）33,000円 HIV（2日間）13,200円

専門薬剤師制度全5領域の運営に関して

	委員会	事務局
試験	・試験委員会の開催 全10回/年 試験問題の作成 試験監督・当日運営 採点・合否判定	・委員会対応（日程調整・資料作成・議事録作成） 【試験】 試験受験者の受付システム作成 試験会場の手配、試験問題の印刷、試験結果の公表
認定	・認定審査委員会の開催 全10回/年 症例・論文等の事前審査 認定薬剤師・専門薬剤師審査 合否の検討	・委員会対応（日程調整・資料作成） 【認定】 認定申請システムの作成・受付 認定申請書類の確認、問い合わせ等 認定証の発送、名簿作成
認定制度検討	・専門薬剤師認定制度委員会の開催 全3回/年 制度の改訂等の検討	・委員会対応（日程調整・資料作成・議事録作成） 理事会資料作成
研修	・研修委員会 研修内容の検討 研修施設の認定・更新 講習会プログラムの検討 講習会講師打診 講習会運営 その他	・委員会対応（日程調整・資料作成・議事録作成） 【施設研修】 研修施設の認定・更新 施設研修者の募集、研修施設との調整、契約 【講習会】 講習会会場の手配・受付システムの作成・配信設定 講師依頼等の対応、テキスト作成等

専門薬剤師制度全5領域の運営コスト

試験	金額
委員会開催費・旅費	320万円
謝金	80万円
会場費	140万円
認定	
委員会開催費・旅費	400万円
謝金	140万円
認定制度検討	
委員会開催費・旅費	30万円
その他（印刷・送料・打ち合わせ）	30万円
運営費	
事務局人件費（2名分）・システム作成費	1500万円
総計	**2640万円**

運営コストは予算額をベースとしています。
委員会開催費・旅費については、実費に近づけるため、予算額の50%で算出しています。

日病薬における専門薬剤師制度に関する検討

「国民のニーズに応える薬剤師の専門性のあり方に関する調査研究」矢野研究班

「専門薬剤師」の新規申請に必要な**外形基準**と比較して

- 日病薬の「認定薬剤師」は更新要件で学術要件が必要で、外形基準の「専門薬剤師」の位置付けに近い
- 日病薬の「専門薬剤師」では症例の提出が必要でなく、外形基準の「指導薬剤師」的な位置付け

現在の要件全体を見直し、３段階へ

「認定薬剤師」
「専門薬剤師」
「指導薬剤師」

- 外部研修がない領域ではカリキュラムがなく、専門業務への従事のみが規定されている

コアカリキュラムを全5領域で作成

特定の専門分野における薬物療法等についての十分な知識と技術が、何かを示す